

# 太陽光発電の光に感謝

向日の保育園 点灯式、完成祝う

太陽光で発電した電気を使い、星形のイルミネーションを点灯させる子どもたち(向日市寺戸町・チェリースハグ東向日園)



小規模保育園「チェリースハグ東向日園」(向日市寺戸町)は9日、太陽光発電施設「おひさま発電所」の点灯式を行った。太陽光で発電した電気でイルミネーションをともし、園児や保護者ら約50人が設備の完成を祝った。

今春開園した同園は、子どもたちに環境に優しいエネルギーを感じてもらい、災害などの停電時には地域住民にも電気を提供しようとして、認定NPO法人キョウトグリーンフアンド(京都市下京区)と協力し、発電設備を設置した。

たソーラーパネルは計39枚で、発電量は約9キロワット。設置費用は435万円で、市民の寄付や同フアンドの基金などでまかなう。

点灯式では、同園を運営するチアコーポレーションの西村日登美社長が「子どもたちには、天からいただいた恵みに感謝しながら育ってほしい」とあいさつした。

その後、園児たちが、壁に飾られた星形のイルミネーションを、太陽光で発電した電気で点灯。小雨が降る中だったが、温かみのある明かりが付くと、大きな拍手が送られた。

同園の屋根に設置し

(石田真由美)